

生活衛生とっとり

編集・発行

(公)鳥取県生活衛生
営業指導センター
鳥取市松並町2丁目160番地
城北ビル(1F)109号
TEL 0857(29)8590
FAX 0857(29)8591
E-mail:tottoricenter@seiei.or.jp
URL:https://seiei.tottori.jp/



「ポストコロナ時代」を切り拓く飛躍の年に 鳥取県知事 平井 伸 治



生活衛生関係営業に携わられる皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお祝い申し上げます。

昨年も新型コロナウイルス感染症は勢いを増し、第7波・第8波とこれまでと比較にならない感染拡大に至りました。そのような中、本県は全国に先駆けて、重症化リスクのある方に重点を置いて命を守る体制を構築するとともに、「陽性者コンタクトセンター」を新設し軽症・無症状の患者にも迅速に支援を行う「BA.5 対応型安心確立進化系システム」へと移行し、医療機関の負担が大きく軽減され、誰一人取り残さない県民の命と健康を守る体制強化へ進みました。経済・社会を動かしつつ、全国で最も感染を抑制し命を守る成果を上げることができ、御協力いただいた県民、医療関係者、事業者の皆様へ深く感謝申し上げます。

また、ロシアのウクライナ侵攻等に端を発した世界的な燃料高・物価高や円安などが吹き荒れる中、本県の経済・産業や暮らしを守るため、昨年12月県議会で補正予算を可決し、経済・雇用・生活対策を切れ目なく講じました。全国知事会長としても、国内地方の声を届け、コロナ対策、経済対策など地方の実情にあった施策の実現のためにまい進してまいりました。

本年こそは、コロナ禍を乗り越え経済・社会活動を本格的に軌道に乗せ、「ポストコロナ時代」を切り拓いていく飛躍の年にしなければなりません。

コロナ禍で、テレワークやオンライン会議などが普及し、人々の価値観も変化し、首都圏の若者を中心に鳥取県への関心も高まりつつあります。本県はこの流れを県の活力につなげ、令和3年度の本県への移住者数は過去最高の2,368人を記録しました。本年もこうした施策を加速させ、県内での副業・兼業を進める「鳥取県で週1副社長」を推進するとともに、スマホアプリ「とっとりふる」も活用し若者のIJUターンを促進します。旅行支援の後押しで観光客も戻し、本年春の岩美道路の開通や秋の「青谷かみじち史跡公園」オープンなどの展開を図り、活力を取り戻す一年にしていきます。さらには、国際定期便の再開や2025年の関西万博の開催も見据え、アウトドアツーリズム推進などによるインバウンドの再興に力を注いでまいります。

県内産業がコロナを乗り越え再興を力強く果たしていくため、デジタル化に伴う生産性向上や人材育成、エコカー部品等脱炭素への技術革新に挑むとともに、農林水産業についても、県産品のブランド化を図り、担い手確保、生産基盤強化やスマート化、販路開拓、輸出促進など活性化を図ってまいります。

併せて、新型コロナの感染拡大に即応し、検査体制強化、病床確保や在宅療養支援、高齢者施設等のクラスター対策に万全を期すとともに、ワクチン接種を促進し、パンデミック終息に向け県民の命と健康を守り切ります。

また、「とっとりSDGs宣言」のもと、誰もが安心して心豊かに暮らせる、持続可能な地域づくりを展開します。全国に先駆けて制定した「鳥取県孤独・孤立を防ぐ温もりのある支え愛社会づくり推進条例」を基に、老老介護、ヤングケアラー、ひきこもり等の孤独・孤立対策を強化するとともに、男女ともに働きやすい環境整備を推進し、全国初の手話言語条例10周年を契機として「障がいを知り、共に生きる」共生社会の確立を図ります。更に、2030年度の「温室効果ガス60%削減」に向け、バイオマス発電や森林吸収源対策などに取り組み、令和6年に迫った全国健康福祉祭(ねんりんピック)を控え、世代を超えたスポーツ振興や健康づくりを展開してまいります。

人口最少の本県においては、地域の未来を担う人づくりも大切です。産後ケアの充実など切れ目のない子育て支援や、ICTを活用した学力向上対策、倉吉東高校の国際バカロレア教育開校、小中学校での英語力強化、社会人に対するリスキリングをはじめ、一人一人の成長と活躍を応援します。

結びに、生活衛生関係営業に携わられる皆様の限りない御健勝と御多幸をお祈り申し上げます。

組合だより

「トップマスターズモード発表普及講習会」を開催

美容業生活衛生同業組合

第107回トップマスターズモード発表普及講習会が10月31日、米子ワシントンホテルプラザで開催されました。これは1年に一回、全日本美容講師会によって発表される新しいヘアデザインと、和装の帯結びに新しい趣を添える結び方を組合員が学ぶ場として開催されている歴史ある講習会です。

今回は全日本美容講師会より、ヘア部門創作メンバーの鎌田広大氏を講師に招いて新作ヘアが、また鳥取県美容講師会会員による新作帯結びが、それぞれ解説を交え実演されました。令和2年から始まった新型コロナウイルス感染拡大による開催中止を経て3年ぶりの開催とあって、待ちに待った70名の組合員が一堂に会し再会を果たし喜び合う姿と、全員が生き生きとした眼差しで新しい技術を習得しようとする様子がひときわ印象的でした。

これほどまでに「逢う」ことが如何に人々を光らせるかを目の当りにし、一日も早く新型コロナウイルス感染症が収束することを願うばかりです。

(副理事長 西尾)



日の出湯応援隊による「町屋寄席」

公衆浴場業生活衛生同業組合



この度、銭湯をこよなく愛する方々が、大正から現在に至る「日の出湯」を庶民の貴重な文化遺産と位置づけ、これを是非とも存続させなければと、「日の出湯元気プロジェクトチーム」を結成して、施設の整備、利用者の勧誘などに助力いただくことになりました。大変心強く思っています。

その一環として先日、同じ小学校区内にある「米子まちなか観光案内所」と連携して、「日の出湯と下町」の活性化の目的で、「日の出湯元気プロジェクト町屋寄席」を開催しました。

会場は、同じ町内に同案内所が新設した「立町まちや」で、

出演者は、関西落語界の大名跡を継承している桂文吾師匠をはじめ、落語家、講談師、日の出湯元気音楽隊員の皆さんで、観客も下町界隈の住民のほか、境港市など周辺地域の方々に、会場に入りきれないほどの盛会でした。

米子市の中心市街地には、かつて、18軒あった銭湯も現在では「米子湯」さんとの2軒です。減少も全国的な傾向だそうですが、銭湯を維持・継続していくことは大変困難な状況です。

しかし、独居老人、体の不自由な方、家庭に風呂のない方など社会的弱者の皆さん、それに銭湯をこよなく愛する方々からの「やめなんなよ」、「やってごしないよ」と切実な声も聴きます。

私も銭湯を維持していくことを社会への責務と考え、元気をいただいている応援隊の協力を得ながら頑張っていきたいと思っています。

(日の出湯 小林)

「振る舞い酒 ー米子駅前・秋の陣ー」を開催

飲食生活衛生同業組合



飲食組合米子支部では、10月14日に「振る舞い酒ー米子駅前・秋の陣ー」を開催しました。

このイベントは、米子駅前のメインストリートは賑わいが戻りつつあるものの、裏通りにも賑わいを取り戻すために米子駅前活性化振興組合が企画し、飲食組合米子支部が全面協力して実施しました。

イベントには、飲食組合米子支部の組合員を中心に10店舗が参加し、「カニ汁」一杯を100円で購入していただいたお客様にビール2杯を無料で振る舞うほか、参加店舗ではそれぞれ趣向を凝らした振る舞い酒を準備し、お客様に喜んでいただきました。

新型コロナの感染者数は昨年11月頃から増加傾向にあり、飲食店街がコロナ禍前の賑わいを取り戻すにはまだ時間がかかるのではと心配していますが、今年も様々な取り組みを通じて飲食店を盛り上げたいと考えています。

(米子支部 山根)



中国ブロック研究会への参加

食肉生活衛生同業組合

11月15日、岡山コンベンションセンターにおいて食肉事業協同組合と共催で、中国ブロック研究会と福祉セミナーが開催されました。コロナ禍により中国5県の組合が顔合わせでの会議は3年ぶりとなりました。

研究会では広島国税局の梅田連絡調整官より「インボイス制度について」の講習会、各県の意見交換などを行い、福祉セミナーでは全国食肉生活衛生同業組合連合会の河野事務局長より今年度の事業の実施内容や、福祉共済制度加入の案内と現状の説明などがありました。

福祉共済制度は食肉業界に所属する人々が互いに助け合い不測の事態に備えると共に、不慮にしてその立場に至った組合員を支援してきました。組合加盟店が減少している中でこの制度が組合員と組合の繁栄に寄与するよう活動を進めていくのが大切だと感じました。

(理事長 酒井)



旅館業法改正の早期成立について

旅館ホテル生活衛生同業組合

旅館業法改正法案は、旅館・ホテルなどの生活衛生関係事業者が新型コロナウイルスの影響による情勢の変化に対応して事業を継続させる環境を整備するためのもので、感染症の症状を示した宿泊者らに対して感染防止対策への協力を求め、正当な理由なく応じない場合に宿泊を拒否できることや施設での感染症のまん延防止対策の適切な実施や高齢者、障害者など配慮が必要な宿泊者への適切なサービスの提供の為、従業員への研修の機会を設けることなどを定めた案となっています。

今回の改正法案は、旅館ホテルでの新型コロナウイルス感染症等のまん延防止のほかにカスタマーハラスメントへの対応とともに、事業継承の円滑化や差別防止を柱としており、旅館ホテル業界において極めて重要かつ大切

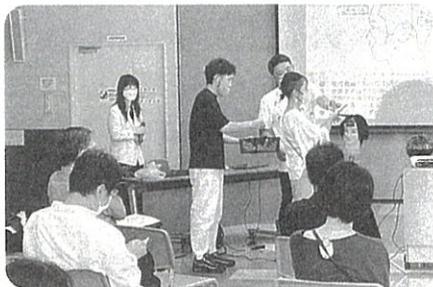
な法案と位置付け全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会が中心となって要望を続けた結果、11月には閣議決定を経ており、今後も宿泊者が安心・安全に宿泊施設を利用して頂くためにも、そして将来に向けて組合員である宿泊事業者と宿泊者が快適で発展的な関係を築いていくためにも国会において早期の審議、成立を求めています。

(事務局 米原)

間近で観る講習会を終えて

理容生活衛生同業組合

三年ぶりの技術講習会が3会場に行われました。人が集まらない状況が続く中で、SNS等を使用して会員間との連絡や情報交換を行い、また、「ズーム」を使用して講習会を行ったりと、いつでもどこでも講習会を受講出来る一つの流れを確立しました。



しかしながら、今回の講習会では、春から準備を進めてきて、ようやく3名の講師をお招きすることが出来ました。

講師の方の技術や丁寧な解説、対応などを目の当たりにした時はモニター越しの場面とは違った何かこみ上げてくるものがありました。各会場で受講された皆さんの共通のお言葉は、食い入るように間近で見れて、細やかな説明を聞き、質問もしっかり出来て、にぎやかにそして中身の濃い講習会となりましたとの多くの声が…。これからは、会員の皆様が多く参加出来る方法を使い進めていきたいと思えます。



最後になりますが、対面式の講習会はやはり仕事への意欲や更にテンションが上がり、やっぱり楽しい講習会になりました。

(広報部長 戸田)

グランドゴルフ大会開催

クリーニング生活衛生同業組合



新型コロナに翻弄されて早三年、未だに組合活動が思うようにできない状況が続いている中、10月23日、県組合懇親事業のグランドゴルフ大会を「屋外」「少人数グループ」「飲食なし」等を徹底し、僅かであっても、組合員同士で同じ時間を共有したいとの思いから開催しました。当日は天候にも恵まれご家族含め26名の参加をいただきました。一打一打に笑顔が溢れ、ホールインワンが5名も出て、賞品の数が足りるか!?!と事務局が焦る事もありましたが、それぞれがお互いに3密に気を付けながらプレーを楽しみました。

雑談の中では、今の状況や情報交換なども多くあり、組合員同士の繋がりを実感し、対面での温かさや大切さを再確認できた時間でした。

コロナ禍での生活も徐々に以前の生活に戻りつつありますが、業界の状況は決して楽観できるものではありません。11月に次世代育成に関する中国ブロック会議が行われ、単県でなくブロックで取り組む等、新しい方法を模索しています。

まだまだ新型コロナの心配が尽きない状況ですが、皆が健康に留意し、来年もグランドゴルフ大会が開催できることを願ってやみません。

(事務局 徳田)

令和4年度

事業実施状況の概要

【鳥取県議会生活衛生関係営業振興議員連盟】勉強会の開催 (公財)鳥取県生活衛生営業指導センター



長引くコロナ禍や燃油をはじめとする物価高で経営が圧迫されている生衛業の現状を調べ、支援策を検討するため8月19日に鳥取県議会議員連盟が設立され、生活衛生同業組合連絡協議会と議員連盟の議員による勉強会が10月13日に開催されました。

勉強会では、各生衛組合の理事長等から生衛業の昨今の経営実態や課題、県への支援策の要望等に関する発言があり、議員の皆様には熱心に耳を傾けていただき、発言に対するアドバイス等もいただきました。

また、勉強会で出された生衛業の振興や組合活動の円滑な運営、コロナ禍や物価高騰対策に係る継続的な支援などの要望については、11月14日に議員連盟と生活衛生同業組合連絡協議会が合同で知事に要望を行いました。



衛生管理講習会



理容業、美容業の各生活衛生同業組合と連携して、県内3地区でそれぞれ3回衛生管理講習会を開催し、営業者や従業員300名が参加しました。

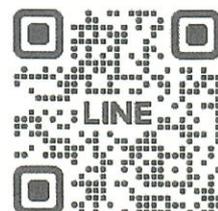
講習会では、保健所の担当者から「理美容に係る法令」や「新型コロナ感染防止に係る支援制度」等の説明が行われた後、医学博士の石田先生より「消毒法」や「新型コロナウイルス感染拡大予防」をテーマに科学的知見に基づく感染状況や感染拡大予防のための効果的な対策などの説明がありました。

今回の講習は、理容(中部地区)ではリモート講習とし、また、美容(東部地区)ではオンライン講習も同時に行いました。

～指導センター LINE公式アカウント～

指導センターのLINE公式アカウントでは、新型コロナや物価高騰に対する国・県・市町村の支援策や指導センターが行う講習会や研修会などの情報をお届けしています。

友だち追加は、右のQRコードを読み込んでください。





令和4年度生活衛生功労者表彰

栄えある受賞おめでとうございます



全国生活衛生同業組合中央会理事長表彰

山本 浩 氏(鳥取市)
理容生活衛生同業組合常務理事

御船 秀 氏(三朝町)
旅館ホテル生活衛生同業組合監事

米山 真紀 氏(鳥取市)
美容業生活衛生同業組合事務長



理事長 松本正嗣

謹賀新年

本年も変わらずよろしくお願ひ申し上げます。

(公財)鳥取県生活衛生営業指導センター

- 理事長 松本正嗣 (公衆浴場業組合理事長)
- 副理事長 鴨河猛志 (クリーニング組合理事長)
- 理事 正田真弓 (美容業組合理事長)
- 理事 小谷文夫 (旅館ホテル組合理事長)
- 監事 山本浩 (理容組合常務理事)
- 監事 田中和子 (旅館ホテル組合監事)
- 経営指導員 中嶋京子

- 副理事長 福間英年 (理容組合理事長)
- 常務理事 小畑正一 (指導センター)
- 理事 酒井昭徳 (食肉組合理事長)
- 理事 和田芳廣
- (株)日本政策金融公庫鳥取支店国民生活事業統轄
- 飲食生活衛生同業組合
- 事務職員 小林真由美

皆様のご健勝とご繁栄を心からお祈り申しあげます。

(株)日本政策金融公庫

鳥取支店 国民生活事業
事業統轄 和田芳廣



米子支店
支店長 竹内利尚



《特別会員紹介》

株式会社プラスビッツ

◇業務内容 ホームページ制作、Webシステム開発等
〒680-0801 鳥取市松並町2丁目160番地
城北ビル(3F)308号
TEL 0857-30-3100 FAX 0857-30-3101

(有)福井印刷

◇一般企業の方から小売店・飲食店・美容室・サービス業・個人の方まで 見積無料! 少数部でも大量のご注文でもOK!
〒680-0872 鳥取市宮長21-4
TEL 0857-37-4669 FAX 0857-37-4628